

6年 3 解説	分数・小数の混合計算	____年 ____組
	名前	

分数と小数の混じったたし算とひき算

$\frac{2}{5} + 0.5$ の計算のしかたを考えよう

【方法①】 小数にそろえる

$$\begin{aligned} \frac{2}{5} &= 2 \div 5 \\ &= 0.4 \\ \frac{2}{5} + 0.5 &= 0.4 + 0.5 \\ &= 0.9 \end{aligned}$$

【方法②】 分数にそろえる

$$\begin{aligned} 0.5 &= \frac{5}{10} = \frac{1}{2} \\ \frac{2}{5} + 0.5 &= \frac{2}{5} + \frac{1}{2} \\ &= \frac{4}{10} + \frac{5}{10} \\ &= \frac{9}{10} \end{aligned}$$

小数か分数どちらかに「そろえること」で計算することができますね。

※こういう時は、注意!!

例えば、 $0.9 - \frac{1}{6}$

$1 \div 6 = 0.166 \dots$ のように、割り切れない場合は小数にそろえることができませんね。

問題で使われている数を見て、「どちらにそろえるか」決められるといいですね。

小数と分数の混じったかけ算とわり算

たし算とひき算と同じように、小数か分数にそろえれば解決できそうですね。

$$\begin{aligned} 7 \times \frac{1}{6} \div 1.4 &= 7 \times \frac{1}{6} \div \frac{14}{10} \\ &= \frac{7}{1} \times \frac{1}{6} \times \frac{10}{14} \\ &= \frac{7 \times 1 \times 10}{1 \times 6 \times 14} \\ &= \frac{5}{6} \end{aligned}$$

$\frac{1}{6}$ を小数にすると割り切れないから、分数にしよう。

分数のかけ算とわり算の混じった式は、わる数を逆数に変えてかけると、「かけ算だけの式」に直せますね。

かけ算とわり算が混じった場合には、分数にそろえることでかけ算だけの式に直せるよさがありますね。